

リノベしてステキに暮らす!
いくのdeリノベ

ディーアイワイ
DIYで広がる楽しい毎日・
自分らしい暮らし。

北巽駅から5分ほど歩いた住宅街の中にある「Diy Studio 杭」。木の観音扉を開けると、その名の通り、ざらりと工具が並ぶDIYの工房スペースが広がる。もう一つの扉は、2・3階に住むシェアハウスの住人たちのコミュニティスペースにつながっている。

この工房を運営するのは杭の代表の川村さん。東北の被災地で大工とともに家を補修する作業に携わった。それが、本格的に内装・DIYを手掛けるようになったきっかけなのだそう。3年前、「シェアハウス一棟をリノベしてみないか」と、東北のボランティア時代の友人からの誘いがあった。この建物のオーナーであったその友人と、もう一人の友と一緒に、この場所を作り上げた。

築40年を超える4階建てのビル。ガレージだった部分をDIY工房に



リノベーション。様々な機材や工具が美しく並べられている。「ここで、なんでも作れる。」と川村さん。木製のアート作品、こども用の木のおもちゃ、組み立て式の屋台やこたつなど、いろいろなものを見せてくれた。「廃材を使えば、安く自分が欲しいものが作れる。」と楽しそうに話す。



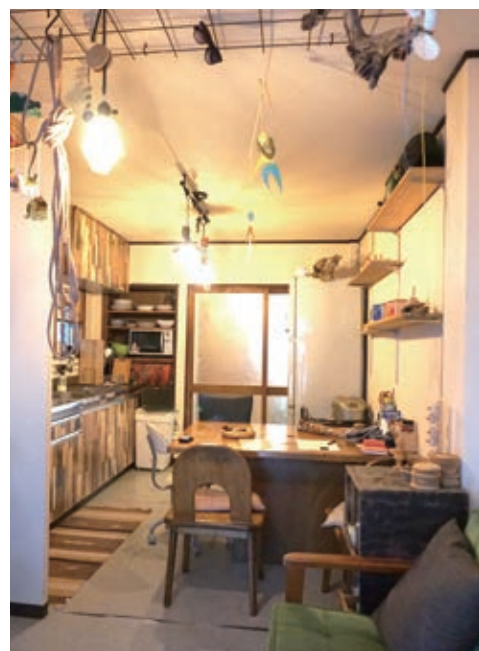
▲ 工房はレンタルもできる

2・3階部分のシェアハウスには、あえてまだ手を入れていない空き部屋がある。未来の入居者と共にリノベーションするためだ。4階の屋上は広々として、見晴らしがいい。竹林で竹を切る作業からスタートした巨大流しうめん、工具の使い方から教える大きなウッドデッキづくり、こどもから大人まで一緒に楽しめるワークショップをここで開催してきた。

「何にもないところから一緒にやろう!」心からものづくりを楽しむ川村さんは、この場所からDIYに親しみ、自分らしく暮らす仲間が増えることを願っている。



▲ 「ウッドデッキづくり」のワークショップ



▲ DIYが詰まったコミュニティスペース 奥には川村さんの居住スペースがある

★Diy Studio 杭
巽北3-7-3-101 ☎090-3981-8733

ブログでは写真を追加して紹介しています。



生野区在住で、古い家屋をリノベーションし、自分らしい暮らしをしている方を紹介してください。

連絡先 区企画総務課 ☎6715-9683
〒544-8501 生野区勝山南3-1-19

★空き家の相談はこちら
区地域まちづくり課 4F ☎6715-9734

大学卒業後、海外を周る中、地元で起きた震災について改めて考え、帰国後被災地での活動に携わりました。



もっと知れば
もっと好き

60カ国以上の方が暮らすまち /

IKUNOX×グローバル
日本まで3.5時間

林 嬌さん
(リン・キョウ)

中国福建省出身。2009年に結婚後、一足先に日本で働いていた夫の元へ。3年前より生野区に移り住み、中国やベトナムの食材店を営む。夫と小学生のお子さんたちとの4人暮らし。



(ニーハオ) 您好! こんにちは!

「こどもは日本語の上達が早い!」

長男は4歳半で、次男は2歳半で来日。それまでは、中国に住んでる両親が育ててくれました。故郷では普通のことなんだけど、日本ではびっくりされますね。こどもたちは日本語を覚えるのがほんとに早かった! 来てすぐの長男が、幼稚園でお友達と日本語でおもちゃの取り合いをしてたんです。こどもも必死だったんでしょね。今では、2人ともすっかり日本の生活になじんで、近所のお友達とも行き来して仲良くしています。



ふるさとの料理では、
麻婆茄子が一番好き!
日本のより、
ずっと辛いですよ!



「キャラ弁ってなに!?!」

中国でもお弁当はあるけど、炒め物とご飯をパパッと入れるだけのもの。初めての保育園での遠足の時、近所の中国人の友達が「日本では『キャラ弁』を作るんだよ」って教えてくれて。慌ててネットで画像を探して、道具もたくさんそろえてがんばって作りました! なんとか新幹線に見えたかな。文化の違いはいろいろ感じるけど、これからも楽しく過ごしていきたいです。

IKUNOX×グローバルは生野区ブログでも発信しています。

生野区 チームいくみん通信 検索



ものづくり企業は地域の誇り /

ピックアップ 生野ものづくり百景

有限会社 アラヤ

あったら便利! を形にする「町のエジソン」

数々のアイデア商品を生み出す有限会社アラヤ。昭和34年設立。父からこの会社を引き継いだ新家 毅さんは、建設機材、塗装用具の製造販売を行う中で、板金、溶接などの技術を活かし、「請けおったものだけではなく、自ら考え、作ったものを」と、アイデア商品を手がけるようになった。



▲ 新家 毅さん

最大のヒットとなる「安定缶」は、傾斜のある屋根にペンキ缶などを安定して置けるように、足の長さを工夫した金属の固定器具。ずれない、倒れないと職人さんに喜ばれている。数え切れないアイデアの中から、30種類ほどを商品化。使う人の目線で、「あったらいいな」を考える。80歳を迎えた今も、「まだまだ世間を驚かすアイデア商品を作るつもり」と笑顔を見せてくれた。



屋根の上でもペンキなどの缶を水平に保つことが出来る脚つき台



安全ガマの軸がコマの中に引っかきくみ、誤って踏んでも痛くない。



はけ刷毛が沈んでしまわないように、缶のふちに留めておける器具。

有限会社 アラヤ
〒544-0012 巽西2-4-32
☎6757-7305

“きらりと光る”ものづくり企業をたくさん紹介しています。

生野区 ものづくり百景 検索

